



# 呉トピックス



## 郷原産ニンニクの収穫体験 呉市立郷原小学校6年生

呉市立郷原小学校の6年生23人は4月27日、同市郷原町にある藤沖学さんの畑でニンニクの芽かき体験をしました。

藤沖さんの畑では、土作りに地域の竹を発酵させた特製パウダーを使い特別栽培農産物として減農薬栽培を行っています。同小学校は総合的な学習の時間を利用して郷原産ニンニクの調査や栽培に取り組み、農業の楽しさや魅力を伝えよう

とJAや藤沖さんなど生産者も協力しています。

昨秋に植え付けたニンニクの茎中心から伸びた花芽をひとつひとつ手で折り、食用部分へ栄養を集中させるために重要な「芽かき」作業を行いました。

参加した児童は「お母さんと一緒に参加できて楽しかった。持ち帰った芽は餃子にしておいしく食べたい」と笑顔で話しました。



▲笑顔で芽かきを行う児童

## 新入職員農業研修

JA呉地域営農経済センターは5月1日、20日に呉市の呉育苗センターで同地域に配属となった新入職員5人を対象に、農業実習として育苗作業を研修しました。作業を通じて、JA職員としての農業への意識向上と事業の理解を促すとともに、組合員奉仕の精神を学びました。

新入職員は、機械での播種や苗への散水、生産者への引き渡しなど多岐にわたる研修。営農販売課職員から指導を受け、職員同士で

連携を取りながら丁寧に作業を進めました。

同センターは4月27日から5月下旬まで「コシヒカリ」や「あきさかり」など約10,000枚の苗箱を生産者へ供給しました。

新入職員の玉木蓮さんは「農作業に携わったのは初めて。この貴重な体験を生かし、組合員の皆さんに貢献できる職員になりたい」と話しました。



▲作業を行う新入職員



## イベント満載 ふれあい市呉店

JAふれあい市呉店では野菜の詰め放題や北海道ラーメンフェアなど、様々なイベントを行っています。5月2〜6日には、広島県産柑橘果汁入りジュースの試飲販売を行いました。

連休中ということもあり、お子様連れのお客様にもたくさんのご来店をいただきました。毎週月・木曜日には江田島市から野菜と併せて新鮮な魚も入荷が始まりました。これからも同店では皆様によるこんでいただける店舗づくりを行って参りますので、たくさんのご来店をお待ちしております。



▲お客様連れのお客様で賑わう店内

JAグループ広島  
組合員の皆様へ  
**愛飲運動**  
2026年 4月1日(水)～9月30日(水)  
JAグループ広島 広島県産 柑橘果汁入り

瀬戸の風と太陽の光をいっぱい浴びて育ちました。

<p>塩梅はっさく水 (無糖飲料水) 500ml×6パック×24本 3,600円</p>	<p>塩梅レモン水 (無糖飲料水) 500ml×6パック×24本 3,600円</p>
<p>柑橘ミックス 200ml×6パック×24本 3,540円</p>	<p>毎朝合せ セット 100%果汁×6パック×24本 3,280円</p>
<p>レモン スカッシュ 200ml×6パック×24本 3,240円</p>	<p>フルーツ デコポン はっさく 200ml×6パック×24本 2,020円</p>
<p>柑橘果汁入り(無)バラエティセット 1L×6パック×24本 3,840円</p>	<p>みかんストレート 1L×6パック×24本 4,320円</p>
<p>柑橘ストレートミックス 1L×6パック×24本 4,120円</p>	

# なるほどえ〜のう! 営農情報

## 落葉果樹

### イチジク



今までは、前年に蓄えた養分で成長してきましたが、これからは新葉や根から吸収する栄養素による生育へと切り替わります。

### 摘芯

展葉10〜12枚(10〜12節)程度で随時摘芯します。

### 追肥

果実の肥大促進を目的に、硫酸加里を成木1本あたり250g施用します。

### カミキリムシ対策

成虫を見つけたら捕殺します。枝から木くずの様なものが出ていたら、その部分に細かい針金等で木くずを削り出し、「園芸用キンチョール

」を注入します。近年では、せん定した切り口の縁からも侵入しているのので、こまめにチェックしましょう。

### カキ



摘果開始は生理落果が終了する6月下旬ころから行います。

摘果をすることで、①隔年結果の防止②果実肥大の促進③果実品質の向上④省力化と作業効率の向上などの効果が得られます。

摘果する果実は、①発育不良果②奇形果③病害虫被害果④へたに傷がある果実⑤地面と接する果実⑥結果枝の基部や先端の果実⑦上向き果などです。

### 【カキの摘果】



へたの形が不揃い・傷あり(優先的に摘果する)



へたの形がそろっている果実を残す

へたの形が不揃いの場合、肥大に影響するため、へたの形が不揃いな果実を積極的に摘果しましょう。

結果枝の中央部分の下向きで形と肥大の良い果実を残します。

葉果比(果実一個に対して樹全体の葉が何枚必要かを表す比率)は、実が着いていない枝の葉も含め10〜15葉に一果とします。

### モモ



### 袋かけ

仕上げ摘果が終わったら、袋かけをします。モモは袋が外れやすいので、止め金を織り込むようにして隙間ができないようにしっかり止めましょう。

### 新梢管理

主枝や亜主枝の背面から発生した枝は、摘芯やねん枝(枝をねじり曲げる)をして、枝の日焼け防止や翌年の結果枝の確保に利用します。一度に多くの新梢を切ると生理落果を助長してしまうので、数回に分けて整理しましょう。

### スモモ



### 仕上げ摘果

5月に引き続き、仕上げ摘果を行います。傷果、変形果、病害虫被害果を中心に摘果しましょう。

### 収穫

大石早生などの早生系品種は収穫が始まります。収穫の目安は果実の地色が抜け、果頂部が赤みを帯び始めたころとなります。

### キウイフルーツ



### 追肥

成木一樹あたり、『ひろしまフルーツ元氣866』を2kg施用します。

### 摘芯

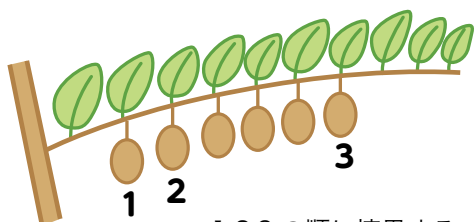
結果枝は先端の実が止まっている部分から8〜12葉で摘芯します。

側枝を更新したい場合は、6月上旬までに発生した枝を18葉前後で摘芯します。

葉の密度は、棚下の地面にうつすから木漏れ日が差す程度にしましょう。

### 摘果

開花後30〜40日後(6月下旬)までに仕上げ摘果を終了します。1mあたり20〜25果程度とします。



1.2.3の順に摘果する

キウイフルーツの摘果

■一言

6月に入ると梅雨を迎えます。曇雨天が続くと、光合成での養分生産が減少し、枝が軟弱に徒長し、養分競合による生理落果が発生しやすくなります。

また、園地内が滞水し根が傷んだ場合、天気が良くなると葉からの急激な蒸散に水分の吸い上げが間に合わなくなり、果実障害や葉のしおれが発生する恐れがあります。

新梢管理も重要ですが、排水性向上のために、梅雨入りまでに明渠（溝を掘る）など排水路の整備を行いましょう。

家庭菜園

梅雨を乗り切る！6月の家庭菜園管理のポイント

梅雨入りを迎える6月は、雨の日が多く湿度も高くなるため、家庭菜園の管理にひと工夫が求められる時期です。一方で、気温も徐々に上がり、野菜の生育がぐんと進む季節でもあります。春に植え付けた夏野菜が順調に育ち始め、畑の変化を日々感じられる楽しい時期ではないでしょうか。

しかし、この時期は過湿による根腐れや病気の発生、雑草の繁茂など、

注意すべき点も多くあります。今回は、6月の家庭菜園を元気に保つためのポイントを、「水管理」「整枝誘引」「病害虫対策」「雑草対策」などに分けてご紹介します。

●水の与えすぎに注意

「梅雨時の水管理」

梅雨時期は雨が続くため、水やりの頻度を減らす、あるいは控えることが大切です。特に地植えの場合、土壌が常に湿った状態になると、根が酸素不足となり、根腐れを引き起こす恐れがあります。

雨が降った後でも、土の状態を確認し、必要以上に水を与えないようにしましょう。プランター栽培では排水性が重要ですので、鉢底石をしつかり敷き、水はけのよい土を使用することが基本です。また、長雨が続く場合は、軒下へ移動したり、簡易的な雨よけを設置したりすることで、過湿を防ぐことができます。

●生育を助ける

整枝・誘引のひと手間



トマトやキュウリ、ナスなどの夏野菜は、この時期にぐんぐん生長します。そのまま放置すると風通しが悪くなり、病気の原因にもなるため、整枝や誘引作業をこまめに行うことが重要です。

トマトはわき芽を摘み取り、主枝を一本仕立てにすることで、栄養が実に集中しやすくなります。キュウ

リやナスも、不要な枝を整理しながら支柱にしつかり誘引することで、倒伏防止と作業効率の向上につながります。

風通しと日当たりを確保することで、病気の予防にもつながりますので、早めに手入れを行いましょう。

●高湿度に要注意「病害虫対策」

6月は湿度が高く、病気が発生しやすい時期です。特に注意したいのが、うどんこ病やべと病といったカビ由来の病気です。葉の表面に白い粉のようなものが見えたり、黄色い斑点が広がったりした場合は、早めの対処が必要です。

予防としては、風通しを良くすること、葉に泥はねをさせないことが基本です。マルチング（敷きわらやビニール）を行うと、泥はね防止と雑草抑制の両方に効果があります。

また、アブラムシやコナジラミなどの害虫も増え始めます。新芽や葉裏を中心にこまめに観察し、発見次第、早期に防除しましょう。数が少ないうちは手で取り除いたり、水で洗い流したりする方法でも対応可能です。被害が広がる場合は、家庭菜園用の登録農薬を正しく使用してください。

●雑草対策は早め・こまめに

気温と湿度が上がる6月は、雑草の生育も一気に進みます。雑草は養分や水分を奪うだけでなく、害虫のすみかにもなるため、小さいうちに

こまめに除草することが重要です。雨上がりは土が柔らかく、根ごと抜きやすいため、除草のタイミングとして最適です。また、マルチング資材を活用することで、雑草の発生を抑えることもできます。

●追肥で生育を後押し

野菜の生育が活発になる6月は、追肥のタイミングでもあります。葉の色が薄くなってきたり、生長が鈍く感じられたりした場合は、肥料切れのサインかもしれません。

ナスやピーマン、トマトなどの果菜類には、2〜3週間に1回を目安に、株元から少し離れた位置に肥料を施しましょう。液体肥料を使えば、即効性があり手軽に栄養補給ができます。ただし、与えすぎは逆効果となるため、適量を守ることが大切です。

梅雨の時期は天候に左右されやすく、思うように作業が進まないこともありますが、日々の小さな管理の積み重ねが、夏の収穫を大きく左右します。野菜の様子をよく観察し、適切なタイミングで手をかけることで、健やかな生育につながります。

家庭菜園は、自然の変化を身近に感じられる貴重な機会でもあります。雨の日の合間を見ながら、無理のないペースで作業を進め、野菜づくりの楽しさを味わってみてください。



# ときめき 女性部通信

## 令和8年度 JA女性部呉地区本部 通常総代会 開催



▲前田部長の開会あいさつ



▲参加した総代の皆さん

JA女性部呉地区本部は4月16日、ビューポート呉で「令和8年度JA女性部呉地区本部通常総代会」を開催しました。

総代やJA役員ら約120人が参加し、令和7年度の活動報告と収支決算、令和8年度の活動計画と収支予算、規約の一部変更、支部の改編、役員を選任について提案し、全6議案が承認されました。



▲柏原さんによる健康講演



▲最後に全員で血液さらさら体操を踊りました

JA共済あわせ健康教室としてJA共済別府リハビリテーションセンター理学療法士・柏原健作さんによる「関節疾患とフレイル・認知症についての基礎知識」の講演を行っていただきました。フレイルを予防する運動・食事・社会参加や認知症予防のために頭と体を同時に動かすことの重要性について紹介されました。

また、講演後には参加者からの質疑応答にも応じていただきました。最後に参加者全員で血液さらさら体操「大事な人だから」を踊って会を締めくくりました。